

◆ 大町ひじり学園だより ◆

第 8 号

ひじりだけ



令和元年9月20日
大町町立小中一貫校
大町ひじり学園
(文責 尾崎 達也)

水害被害、お見舞い申し上げます

8月28日、9年生の修学旅行から帰る日でした。大雨で帰れそうにないということで急遽、熊本で一泊し翌29日に何とか学校へ到着しました。その後、町内の子ども達の家の様子を見に行きましたが、福母は水につかった状態、ボタ山は崖崩れで道路が寸断されていました。我が故郷大町の被害の大きさをあらためて知ることになりました。すぐに子どもたちの被害の様子を聞き取りました。また子どもの心のケアが大事と言うことで、教職員で研修を行いました。熊本県から派遣された指導主事様、スクールカウンセラーや県の精神福祉センター所長様から指導を受けたことは共通していました。子どもたちがよく知っている先生や保護者の方が、子ども達に「大丈夫」と安心させること。大人が立て直しに向けて努力している事など、前向きな姿を強調すること。でした。また子どもの普段と違う言動、例えば「おねしょ」をしたりイライラし攻撃的になったりするのは正常な反応であることも強調されました。「災害ごっこ」をするのも自分自身の治癒活動であること。それが嫌な子がいる場合は別の場所でさせることも大事だと話されました。いまだ自宅に戻れずに生活している子ども達います。また不安を抱えている子もいます。私たち教職員は今まで以上に子どもたちの言動に注意を払い、安心して生活できるように努力します。一日でも早い平常の復帰を願います。

町の対策本部の方々含め町職員の方々、自衛隊の方々、国土交通省の方々、各県消防隊の方々及び消防団の方々、ボランティアの方々、町の各種団体の方々など、多くの方々に感謝申し上げます。

義援金や励ましのメッセージ

○岡山県倉敷市真備町 川辺小学校

3・4年生からの励ましのお手紙を9月7日(土)に川辺小学校のPTA会長様が届けに来て下さいました。

○佐賀ユニセフ協会から励ましのお手紙。9月3日に届きました。

○熊本県阿蘇郡西原町立西原中学校より義援金を送付する連絡あり。

○杵島郡PTA連合会より義援金 杵島郡内の小中学校PTA・育友会よりいただいています。

○杵島郡PTA事務局 大串様より義援金。

○旧職員 原崎幸恵先生、川口先生より義援金。

○白石町老人クラブ 六角支部 及び支部長の徳久様(大町町出身)より義援金。

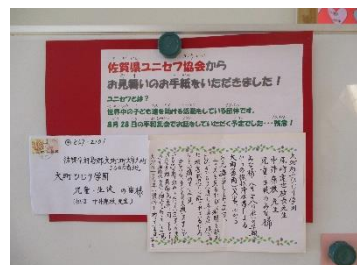
○南里用品店を通して制服組合から制服とバック、体操服、体育館シューズ、赤白帽子の無料提供。

○ジブラルタ生命よりタオル、ノート、鉛筆の提供。

この他にも教材会社等から支援の話が寄せられています。



川辺小学校



佐賀ユニセフ協会



白石町老人クラブ 六角支部



杵島郡PTA連合会

心温まる励ましのお手紙やご支援、ありがとうございました。